



施工実例集

1 杭打機搬入

コンパクトな専用杭打機のため、機材の搬入は迅速・容易・安全に行なえ、すぐに杭の打設が開始出来ます。



2 杭材搬入

鋼管杭の特徴を活かして、搬入条件に合わせて杭長の組み合わせ、搬入車輛が選択できます。



3 杭の吊り込み

杭を吊り込みます。他工法に比べて杭重量が軽く、転倒の危険もありません。



4 杭芯セット

2方向に設置した逃げ芯から、定規で確認しながらセット。芯ズレを最小限に抑え施工します。



5 下杭の回転埋設

適宜、鉛直性を確認しながら回転埋設します。鉛直性に優れ、発生残土はありません。



6 杭の接続

上杭の鉛直性を確認し、裏当て金具を用いて全周溶接をします。



7 中・上杭の回転埋設

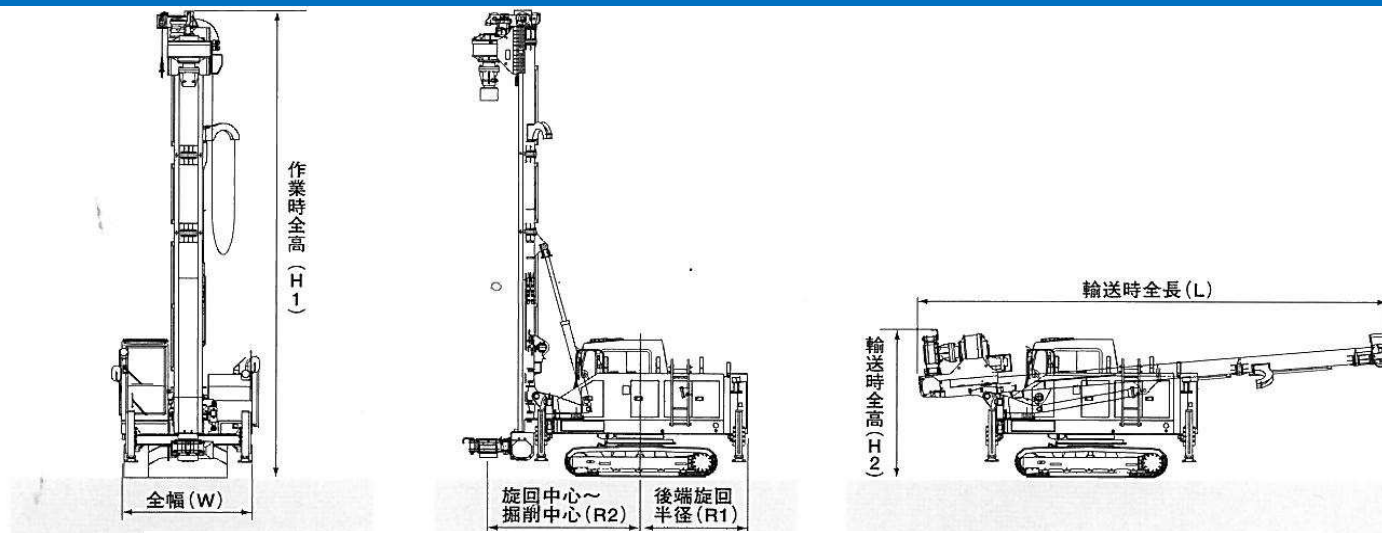
杭の接続以後、順次回転埋設します。G-ECSパイル工法は、継手の低減をする必要はありません。



8 支持層確認～施工完了

認定基準により、支持層の確認、根入れを行い施工完了します。





機械一覧表 (参考)

諸元		06タイプ	08タイプ	12タイプ	15タイプ	20タイプ	25タイプ
機械寸法	全幅	(mm) 1,780(1,500)	1,950	2,420	2,490	2,500	2,490
	作業時全高 (H1)	(mm) 4,640	8,620	9,010	9,230	9,660	12,980
	(短尺使用時)	(mm) 1,990	3,000～5,970	3,000～8,700	3,000～8,900	3,800～7,150	3,400～12,000
	輸送時全長 (L)	(mm) 4,560	8,050	8,700	8,950	8,850	11,520
	輸送時全高 (H2)	(mm) 1980～2660	2,770	2,770	2,790	3,080	2,850
	後端旋回半径 (R1)	(mm) 1,850	1,950	2,250	2,400	2,860	2,610
	旋回中心～掘削中心 (R2)	(mm) 2,190	2,250	2,800	2,950	3,600	3,390
機械重量	標準装備重量 (t)	6.95～7.2	10.2	14.8	17.5	34.2	33.0
機械性能	オーガトルク (kN・m)	40.3	41.6～60.1	98.3	139.0	196.0	276.0
	押込 / 引抜力 (kN)	49.0	45.5～53.9	59.4	68.6	137.0	196.0
対応杭種	φ 114.3 (mm)	○	○	△	×	×	×
	φ 139.8 (mm)	○	○	△	△	△	×
	φ 165.2 (mm)	○	○	○	○	○	×
	φ 190.7 (mm)	△	△	○	○	○	△
	φ 216.3 (mm)	△	△	○	○	○	○
	φ 267.4 (mm)	×	×	△	○	○	○
	φ 318.5 (mm)	×	×	△	△	○	○
	φ 355.6 (mm)	×	×	△	△	○	○
	φ 400/406.4 (mm)	×	×	×	△	△	○

* 型式により数値が異なる場合があります。* ()内は搬出入走行時の数値です。